

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 7 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	松江市内の地熱活用による温泉街等地域活性化及び新たなエネルギー活用検討事業	
補助事業者名	松江市	
補助事業の概要	地熱発電施設の設置及び発電した電気によって温泉水の二次利用について先進地視察及び農業利用の適切性を検討した。また、本市における水素利活用の可能性検討調査、官民学が連携して水素利活用について考える協議会・意見交換会を実施した。	
総事業費	5,372,790 円	
補助金充当額	5,372,790 円	
定量的目標	・温泉水の二次利用について協議会等を設置し、事業主体を確保することで、温泉水を二次利用で活用した特産品を 1 つ見出す。 ・地熱発電によって生み出されたエネルギーの活用について、地域振興（地域イベント等）としての活用可能なものを 1 つ以上明らかにする。 ・松江市内の水素活用のポテンシャル調査や意識調査を通して、松江市での水素活用について現状の詳細を明らかにし、地域全体で水素活用に理解を深め、水素活用を実現できるような事業計画等策定に向けた概要資料を 1 年通して作成する。	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	温泉水の二次利用については事業主体を見出すまで至らなかったものの、先進地視察等を通して知見を深めることにつながった。また令和 8 年度には「地熱の農業利用に係る調査業務委託」を計画しており、温泉水の二次利用について一次産業を中心としてプレイヤーの選定を含め、より詳細な検討を行う予定としている。 水素については「松江市内における水素利活用に関する調査及び検討業務委託」を実施した。今後本市が検討する地域特性に応じた水素サプライチェーンの「松江市モデル」構築の基礎資料となり、本市の水素利活用の検討に活用することができる。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約の目的	「松江市内における水素利活用に関する調査及び検討業務委託」 本市の地域特性を踏まえ、水素の「つくる」「はこぶ・ためる」「つかう」という一連のサプライチェーンを総合的に捉えた

		「松江市モデル」の構築を念頭に、水素利活用の可能性や課題を明らかにすることを目的として実施するもの。
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方	株式会社アテナ
	契約金額	4,840,000 円
来年度以降の事業見通し	地熱発電で生み出したエネルギーを地域イベント等の地域振興に活用することや温泉水の二次利用についてプレイヤーが見つからず、事業実施に至っていない状況であるため、温泉熱農業利用先進地への視察、温泉水の二次利用に向けた具体的な調査を行うことで事業実施につなげていく。 また、昨年度に実施した「松江市内における水素利活用に関する調査及び検討業務委託」の結果をもとに、本年度はまつえ水素活用協議会を開催し、松江市モデルの検討及び実証事業の可能性を検討していくとともに、水素に関する意識醸成を行うべく、市民向け啓発・理解促進事業を実施する。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。